

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 健康診査事業
-------------------	---------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人及び老人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	009	事務事業コード 12211009 事業開始年度 昭和 5 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	健康診査事業
------	------	------------	--------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 市民の健康づくりに寄与するため、各種健診事業を実施し病気の早期発見・早期治療に結びつけ、健康の保持増進を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 各種健康診査 各がん検診 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診(40歳以上) 乳がん検診(40歳以上女性) 子宮頸がん検診(20歳以上女性) 前立腺がん検診(50歳以上男性) 肝炎ウイルス検診 歯周疾患検診(40歳・50歳・60歳・70歳)
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 健診対象者が各種検診を受診することで、病気の早期発見・早期治療につながり、健康の保持増進ができる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 健康増進法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	大腸がん検診受診者数	人	目標値	1,590	1,550	1,550	1,550	1,550
			実績値	1,161	/	/	/	/
	肺がん検診受診者数	人	目標値	2,700	2,295	2,295	2,295	2,295
			実績値	2,095	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円	3,697	4,674	5,435			5,435
	道支出金	名称	千円	536	683	3,472	683	683	4,838
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円	6,238	7,890	4,894	4,894	4,894	14,682
	一般財源	名称	千円	27,710	28,313	29,978	29,978	29,978	89,934
	合 計				38,181	41,560	43,779	35,555	35,555
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	1,639	1,683			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	229	235			
			合 計		1,868	1,918			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 健康増進法で市が取り組むべき事業として位置づけられている。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 検診により、がん等の発見があり。早期治療につながっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 女性特有のがん検診推進事業や特定健診とがん検診の同時受診勧奨等、受診促進に努めている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 診療報酬をもとに委託単価を設定しているため、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	がんによる死亡が多い中、がん死亡の減少と健診受診の促進のため、継続して実施していく必要がある事業である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）